

# トガシオオナギナタハバチ

ハチ目ナギナタハバチ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

*Megaxyela togashii* Shinohara

国カテゴリー

情報不足

## 選定理由

個体数が非常に少ない珍しい種で、しかも環太平洋分布をする注目すべき種である。

## 形態

触角第3節が長く、第4節以下は数珠状となる。

## 国内分布

石川県、兵庫県、岡山県、広島県に分布する。

## 県内分布

白山市瀬波での記録が唯一である。

## 生態

谷川沿いのサワグルミ林で採集されていて、幼虫はサワグルミの葉を食する。詳しい生態については不明である。

## 生息地の条件

沢沿いに広がるサワグルミ林に生息する。同属のオオナギナタハバチはオニグルミを食することが知られているが、本種がオニグルミを食するかどうかは不明である。

## 生存の危機

沢沿いのサワグルミ林が土木工事や土砂崩れ等で破壊されると、生存が危ぶまれる。(A)

## 特記事項

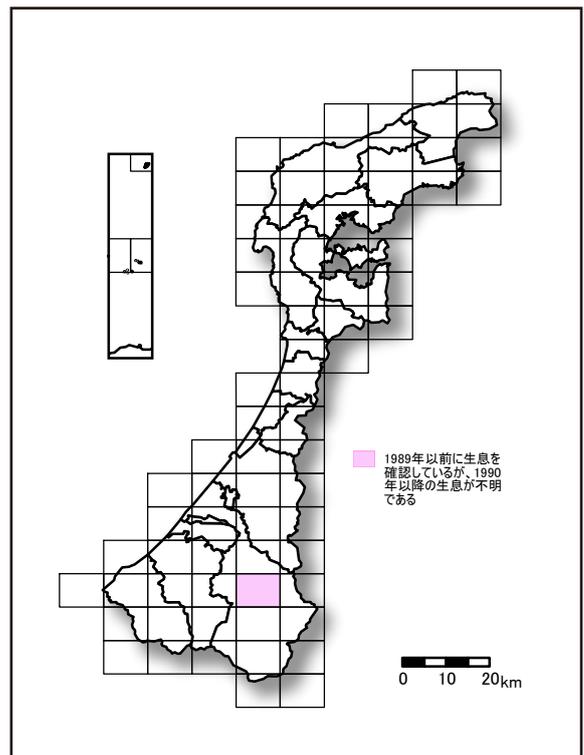
現在のところ、4個体が採集されているにすぎない。

## 参考文献

Shinohara, A. 1992. Sawfly genus *Megaxyela* (Hymenoptera, Xyelidae) in East Asia. Jpn. J. Ent., 60 (4):783-796.



標本提供者: 富樫一次



県内の分布